

□□□■□ 活用と普及 【spread】

- 「エンパワメント促進チェックシート」の電子データを配布しております。
岩手大学教育学部のホームページからダウンロードをしてお使いいただけます。
→ <https://www.edu.iwate-u.ac.jp/kenkyuu-2/>
研究に関する報告書等 > 【アーカイブ】特別支援教育を推進するためのリソース > 特別支援教育の”ツールボックス” プロジェクト
- 「エンパワメント促進チェックシート」は、特別支援学校のセンター的機能担当者が小中学校等に対してコンサルテーションするにあたって、お使いいただけます。はじめて役職に就いた人にとっても「何を備え、どうするか」がわかりやすいものです。



□□□□■ 資料と広報 【references】

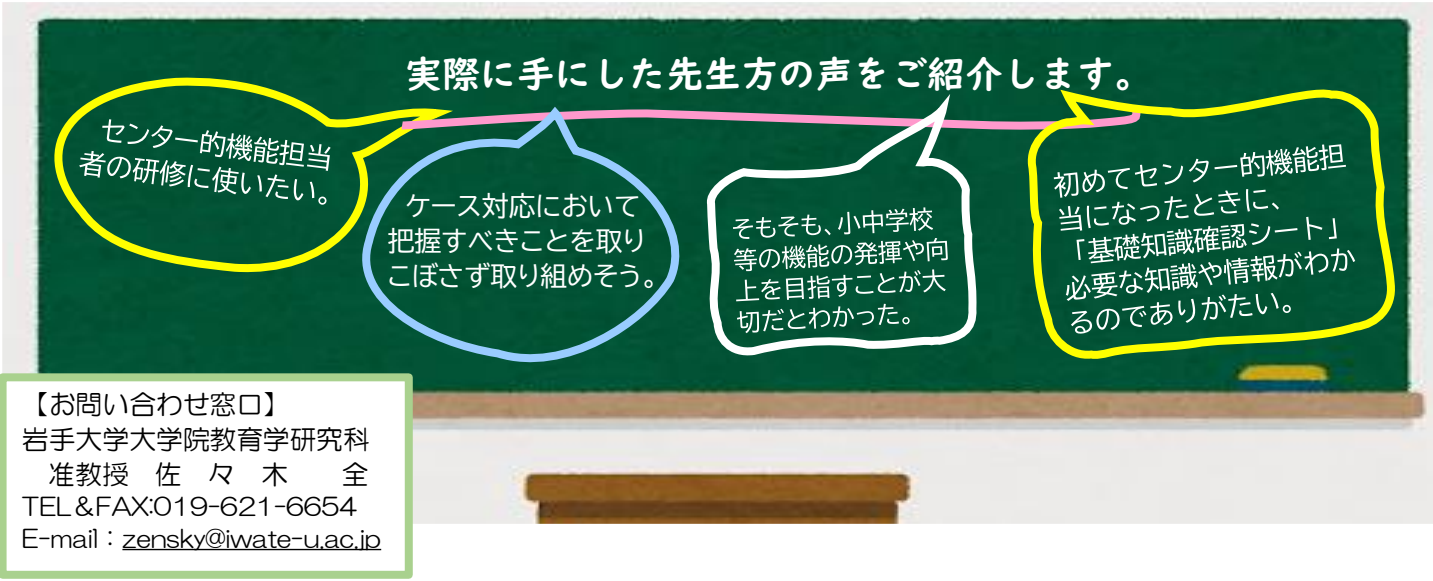
熊谷美智子（2022）小・中学校等の特別支援教育に関するエンパワメント促進に向けてー岩手県における「段階的な支援体制」を円滑に推進するためのツール開発ー。岩手大学大学院教育学研究科教育実践研究報告書。

岩手県教育委員会（2019）いわて特別支援教育推進プラン（2019～2023）。
<https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/kyouiku/gakkou/tokubetsu/1006404.html>
（2023.3.16.閲覧）

松田真一・芝野稔（2011）特別支援教育における学校コンサルテーションの在り方に関する研究～これから望まれる学校支援～。高知県教育センター平成 22 年度高知県教育公務員長期研修生（研究生）研究報告。https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310308/files/2011080500128/2011080500128_www_pref_kochi_lg_jp_uploaded_life_91884_326747_misc.pdf
（2021 年1月7日閲覧）。

武田篤・斎藤孝・新井敏彦・佐藤圭吾・藤井慶博・神常雄（2013）特別支援教育における学校コンサルテーションの充実に向けて～コンサルタントが抱く困難性と求められる専門性～。秋田大学教育文化学部教育実践研究紀要,35,79-85.

文部科学省（2022）通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果（令和 4 年）について。https://www.mext.go.jp/content/20221208-mext-tokubetu01-000026255_01.pdf（2023.3.16.閲覧）



特別支援教育の工具箱【toolbox】

小・中学校等に対する

特別支援学校のセンター的機能による「エンパワメント促進チェックシート」

7

特別支援学校のセンター的機能によるエンパワメント促進チェックシート
2023. 3. 31

- 特別支援教育の工具箱【toolbox】とは、特別支援教育を支えるツールを紹介するものです。
- 本内容は、岩手大学大学院教育学研究科教職実践専攻（教職大学院）における教育実践研究（熊谷、2022）による成果物です。この開発並びにリーフレットの作成に際しては、附属学校特別支援教育連携専門委員会の協力を得ました。

■□□□□ 課題と必要 【needs】

学校教育法第74条によれば、「特別支援学校においては、第七十二条に規定する目的を実現するための教育を行うほか、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校又は中等教育学校の要請に応じて、第八十一条第一項に規定する幼児、児童又は生徒の教育に関し必要な助言又は援助を行うよう努めるものとする」とあります。これが、特別支援学校の「センター的機能」です。

そもそも、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果（令和 4 年）にて、「学習面又は行動面で著しい困難を示す」とされた児童生徒数の割合が、8.8%であることが明らかにされました（文部科学省、2022）。このような児童生徒への対応について、特別支援学校は、センター的機能として、依頼に基づき小・中学校等へのコンサルテーションを行うことがあります。これは、「いわて特別支援教育推進プラン」（岩手県教育委員会、2019）でいうところの、「段階的な支援」体制（校内での一次支援、近隣校や関係教育機関等による二次支援、特別支援学校等による三次支援）における三次支援に位置します。

これまでのセンター的機能による支援について、松田・芝野（2011）は「担任に対しての直接的な支援に終始することが多く、学校組織に対するアプローチが十分でなかったため、小・中学校での校内支援体制の整備・充実につなげることができていなかった」と指摘し、武田・斎藤・新井ら（2013）は、「特別支援学校の教師や専門家の多くにとって、子どもへの直接的な指導やアセスメントにはたけていても、学校や教師への支援を行うコンサルテーションに関しては経験したことがなく、試行錯誤しながら支援にあたっているのが実情」と指摘しています。それゆえ、センター的機能による支援に求められているのは、「学校組織に働きかけるコンサルテーションであり、それにより各学校が自校の支援体制を整備し、一人一人の子ども支援に主体的に取り組んでいく力を獲得していくことにある」と述べています。

これらのことから、小・中学校等において支援体制を整備し、特別支援教育に関する学校組織のエンパワメントを促進することが必要です。

□■□□□ 構想と開発 【concept】

そこで、学校組織のエンパワメントに資するコンサルテーションとしての具体的な動きに関わる内容と手順が明確化される必要があります。このために、センター的機能の担当経験のある特別支援学校教員に対するニーズの調査とそれに基づく「エンパワメント促進チェックシート」の開発を行いました。ここでは、ニーズ調査から明らかになった「センター的機能業務内容のイメージ」（右図）に基づき、「センター的機能担当者 基礎知識確認シート」「ケース対応 スキル参照シート」で構成しました。

センター的機能の担当者が、何を、どうすべきか、何をもって判断すべきかということを考える際の参考になるものです。ケース対応で悩んだり、迷ったりした際に、目を通してみましょう。ケース対応終了後に、自身の支援・対応はどうだったのか、自己評価する場合にもどうぞご活用ください。

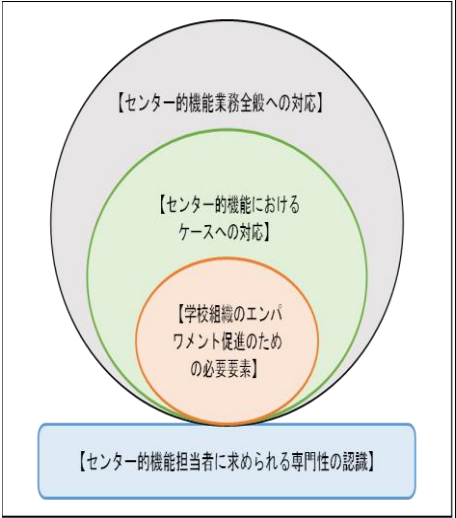


図 センターの機能業務内容のイメージ

センター的機能担当者 基礎知識確認シート

*自己研修で活用したり、分掌で研修会等を実施して共通理解を図った場合に✓をつけてください。



取組項目	【参考となる資料名 等】	取組項目について、確認したらチェック	チェック
1.	特別支援学校におけるセンター的機能の具体的な内容（主な6点）について知っている。 〔文部科学省（平成29年3月）「発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン」〕 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/1383809.htm		☒
2.	岩手県の特別支援教育は「いわて特別支援教育推進プラン」に基づいて推進されていることを知っている。 〔岩手県教育委員会（平成31年3月）「いわて特別支援教育推進プラン（2019～2023）」〕 https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/kyouiku/gakkou/tokubetsu/1006404.html		☐
3.	センター的機能としての取り組みは「いわて特別支援教育推進プラン」の「いかす～各校種における指導・支援の充実～」に位置付けられていることを知っている。 〔「いわて特別支援教育推進プラン（2019～2023）」p14～19〕		☐
4.	現在、小・中学校等において、どのような県の方針があり、その下で教育／保育が行われているか知っている。 〔岩手県教育委員会「令和3年度 学校教育指導指針（幼稚園等・小学校・中学校・義務教育学校）」〕 https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/kyouiku/gakkou/shouchuu/1006362.html		☐
5.	「共に学び、共に育つ教育」という基本理念の下、教科教育と特別支援教育の融合として考えられた『いわて「授業のユニバーサルデザイン」』について知っている。 〔岩手県教育委員会「共に学び、共に生きる いわて」〕 https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/kyouiku/gakkou/tokubetsu/1027151.html 〕		☐
6.	小・中学校の特別支援学級や通級による指導における指導・支援のシステムや内容等について知っている。 〔岩手県立総合教育センター「特別支援学級経営の手引（令和3年度版）」〕 http://www1.iwate-ed.jp/tantou/tokusi/tebiki01.html 〔岩手県教育委員会（平成30年3月）「通級指導教室経営の手引」〕 https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/kyouiku/gakkou/tokubetsu/1027150.html		☐
7.	障がいのある子どもの就学相談や就学先の検討等の支援に関する一連のプロセスについて知っている。 〔文部科学省（令和3年6月）「障害のある子供の教育支援の手引」〕 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250_00001.htm		☐
8.	「学校コンサルテーション」の基本的な考え方について知っている。 〔独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所「教育相談情報提供システムー教育相談に関する基礎」〕 http://forum.nise.go.jp/soudan-db/htdocs/?page_id=16	関連書籍もあります。	☐
9.	自校が担当する市町村の教育支援体制（機関・組織）やリソース（関係機関等の資源）について知っている。 〔管轄教育事務所所属の特別支援教育エリアコーディネーターからの情報提供 等〕		☐
10.	特別支援教育ならびに関連の取り組みを進める上で、役立つサイトについて知っている。 〔岩手大学教育学部 研究に関する報告書等【アーカイブ】特別支援教育を推進するためのリソース〕 https://www.edu.iwate-u.ac.jp/kenkyuu-2/		☐

参考となる資料のリンクは、削除・変更などがあり得ます。随時確認しましょう。

※ 小・中学校等用「校内支援体制アセスメントシート」とは、「段階的な支援」体制を円滑に推進するためのチェックシートに含まれるものです。小・中学校等が連携のために用いるものです。詳しくは、特別支援教育の道具箱【toolbox】#6を参照ください。本紙と同様に、

ケース対応 スキル参照シート

*ケース対応の状況によって、必要となるスキルの具体は異なります。

現在のケースで使いたい または 過去のケースで使ったスキルについて確認しましょう。



	内 容 項 目	チェック
コ ン サ ル ティ の 主 体 的 取 組 を 促 進 す る ス キ ル	<クライアントの実態を把握するための情報収集> ○事前資料を読み、必要に応じて追加の情報を聞き取る。 ○授業参観で、クライアントの様子を観察する。 ○クライアントの日頃の様子を聞き取る。（可能であれば、複数の関係者から） ○作成したものがあれば、個別の指導計画の内容を確認する。	☒
	<コンサルティの実態を把握するための情報収集> ○学校（園）概要について把握する。（ホームページ、学校要覧 等） ○授業参観で、クライアントの様子を観察する。 ○校（園）内支援体制について把握する。〔小・中学校等用「校内支援体制アセスメントシート」の活用〕 ○作成したものがあれば、個別の指導計画の内容を確認する。 ○校内支援体制の状況について聞き取る。	☐
	<コンサルティの思考や判断を促す質問・提案・助言> <コンサルティの意図する取組の明確化> <コンサルティのこれまでの取組の価値付け> ○課題となっている行動や様子の生起する時としない時の状況を聞き取る。 ○現在の指導・支援の状況について聞き取る。 ○現在の指導・支援の意図について聞き取る。 ○アセスメントから得られた情報についてフィードバックする。 ○これまでの取組の中で、効果的に働いているものについて明示的にフィードバックし、特別支援教育的な意味付けを行う。 ○今後の指導・支援の具体について、選択肢を提示する。	☐
	<即時的な支援の提案・助言> ○翌日からでも、すぐに取り組むことのできる指導・支援について提案する。 ○関連する書籍や教材教具などを紹介する。	☐
	<支援・介入に対する評価を得るための情報収集> ○継続的に指導・支援の進捗状況を確認する。 ○支援者チーム内で、支援・介入についての評価を行う。（ミーディング、記録 等） ○コンサルティや関係者から、支援・介入後のクライアント・コンサルティの様子を聞き取る。	☐
	学 校 組 織 の サ ス テ ナ ビ ル イ テ ム を 促 進 <コンサルティの実情に応じた提案・助言> ○校内支援体制等を把握した上で、コンサルティが「できること」「やりきれること」を検討する。 <コンサルティチームでの対応を推進する場の設定><コンサルティチームでの対応を推進する提案・助言> <コンサルティチームでの対応を推進する役割分担><コンサルティチームでのキーパーソンの把握> ○カンファレンスへの管理職の同席や関係者の参加を要請する。 ○担任や特支Co.などの直接的なコンサルティだけでなく、他の関係者の意向も確認しながら、参加者全員で検討できるようにカンファレンスを行う。 ○指導・支援に対する、校（園）内での役割分担を検討する。 ○組織の中でのキーパーソンを把握し、必要な場面での行動を促す。	☐

（参考：山内明美・名越斉子（2020）学校コンサルテーションから考えるセンター的機能のあり方（2）
ーコンサルティのタイプに応じたコンサルテーションスキル活用の試みー、埼玉大学紀要 教育学部，69（2），107－119）

内容項目について、確認したらチェックを付し

小・中学校等用「校内支援体制アセスメントシート」の活用については積極的な活用を促しましょう。※

<>で示された語句は、ニーズ調査から明らかになった「センター的機能担当者に求められる専門性の認識」を構